

“互惠共栄”

- global
- creative
- originality
- multiple
- speed & power



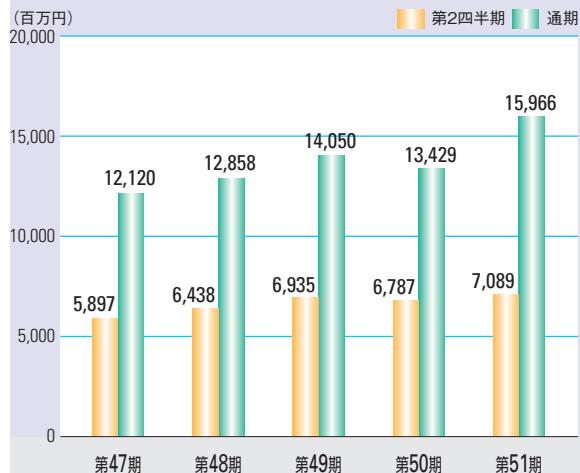
第 51 期事業報告書

平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日

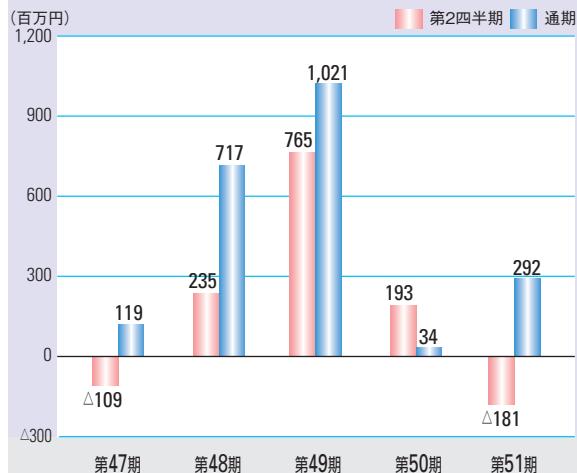


財務ハイライト

売上高



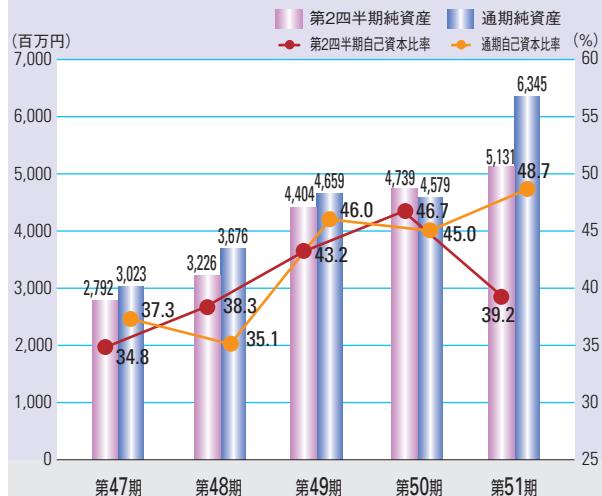
純利益



経常利益



純資産・自己資本比率





代表取締役社長

稲吉 史 泰

手頃な価格でおいしい食事を提供し、快適な食生活を楽しんでもらいたい。日本の味覚を、いつでも、気軽に楽しめるようにしたい――。

創業以来42年、変わることなく抱き続けて参りました。

「株式会社ジー・テイスト」は、食のパイオニア企業として、21世紀の豊かな食文化の創造に貢献して参ります。

■経営成績

当事業年度におけるわが国経済は、年度後半に輸出企業の業績改善などを背景に緩やかな景気回復の兆しが見られましたが、企業の設備投資や雇用は本格的な回復には至っておりません。また、個人所得の低迷や、節約志向の高まりから外食の頻度が減少する傾向が引き続き強く、外食業界の経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の中、前事業年度に続き、新規出店を抑制する一方、不振店の業態見直しや老朽化した店舗のリニューアル、メニューの見直し、コストの削減などを積極的に取り組んで参りました。

平成21年8月1日に株式会社グローバルアクトを吸収合併したことにより当事業年度末の店舗数を269店（前事業年度末比88店舗増加）と、本社機能統合による間接コストの低減化を図りながら営業基盤を拡大いたしました。しかしながら個人消費の低迷や、新型インフルエンザの流行等から来店客数が減少し、売上高は合併効果により前事業年度比で増収となったものの、コストの増加が上回りました。

以上の結果、当事業年度の売上高は前事業年度比18.9%増の159億66百万円、営業利益は前事業年度比55.8%減の2億63百万円、経常利益は前事業年度比49.0%減の4億1百万円となりました。一方、当期純利益については、減損損失、合併時の抱合せ株式消滅差損等の特別損失を9億79百万円計上したものの、法人税等調整額を△9億24百万円計上した結果、前事業年度比749.3%増の2億92百万円となりました。

①寿司部門

寿司部門は、「旬の食材をいち早く多くのお客様に届ける」ことを基本方針に掲げ、グランドメニューとキャンペーン商品を毎月新しくし、創作寿司や1皿3貫盛りなど当社オリジナル商品で集客力増加に努めて参りました。さらに地域性を考慮した価格構成別のメニューを採用することで、よりお得感を打ち出し、売上増加を目指して参りました。また、既存店19店舗をリニューアルし、その中でも秋田、岩手、青森、宮城地区の一部既存店9店舗におきましては、寿司1皿100円均一の新業態「奥羽寿司製作所」にリニューアルし客数増を図りました。しかしながら、景気悪化に伴う個人消費の落ち込みの影響を受け既存店の売り上げは前事業年度実績を下回る推移となりました。そのような中で、不振店2店舗を閉店いたしました。以上の結果、当事業年度における売上高は前事業年度比17.8%減の68億67百万円となりました。

②居酒屋部門等

居酒屋部門はグランドメニューの見直し、店舗の改装・業態転換などを進めました。中心業態である、とりあえず吾平では「韓国フェア」「情熱グルメフェア」「吾平の冬コレフェア」など提案型のメニューを実施し売上高の維持に努めました。当事業年度は業態転換を含め11店舗を新規出店、不採算店9店舗を閉店いたしました。また平成21年8月1日に株式会社グローバルアクトとの合併により91店舗増加いたしました。以上の結果、当事業年度における売上高は前事業年度比78.5%増の85億55百万円となりました。

③教育部門

教育部門は、新規に1校舎を開校いたしました他、FC加盟店より5校舎を譲受けました。また、新規生徒獲得不振校や立地・家賃条件の悪い3校舎を移転し、業績不振校舎の改善に努めました。英会話部門において旧NOVAに対する未消化授業料分を優遇された受講生徒の未消化分が終了し、順次正規料金へ移行したことに加え、前事業年度比で新規生徒の獲得数が増加いたしました。以上の結果、当事業年度における売上高は前事業年度比89.6%増の5億43百万円となりました。

次期の見通し

既存店舗につきましては、当事業年度同様リニューアルや業態転換など投資を抑えながら売上高の拡大を図ります。また、引き続き厳しい経営環境下で業界内の再編も進行すると予測しており、M&Aも視野に入れた積極展開を目指します。次期の見通しにつきましては、売上高180億21百万円（前事業年度比12.9%増）、営業利益4億35百万円（前事業年度比65.3%増）、経常利益5億87百万円（前事業年度比46.3%増）当期純利益3億円（前事業年度比2.8%増）を見込んでおります。

財務諸表

貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当事業年度末 (平成22年3月31日)	前事業年度末 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産	1,102	1,700
現金及び預金	276	969
売掛金	135	55
売上預け金	55	62
商品	29	17
原材料及び貯蔵品	140	98
前払費用	283	151
繰延税金資産	103	74
関係会社短期貸付金	—	186
その他	79	87
貸倒引当金	△ 1	△ 2
固定資産	11,939	8,471
有形固定資産	5,125	2,985
建物 (純額)	2,785	1,914
構築物 (純額)	246	166
機械及び装置 (純額)	18	25
車両運搬具 (純額)	1	0
工具、器具及び備品 (純額)	109	116
土地	1,926	742
リース資産 (純額)	37	19
無形固定資産	1,791	126
のれん	1,749	80
借地権	1	1
ソフトウエア	15	25
その他	25	18
投資その他の資産	5,022	5,359
投資有価証券	9	8
関係会社株式	—	1,490
出資金	4	4
長期貸付金	34	8
関係会社長期貸付金	—	323
長期前払費用	89	47
敷金及び差入保証金	3,812	1,927
繰延税金資産	848	—
投資不動産 (純額)	202	1,543
その他	32	21
貸倒引当金	△ 12	△ 15
資産合計	13,042	10,172

(単位：百万円)

科 目	当事業年度末 (平成22年3月31日)	前事業年度末 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債	3,784	3,044
買掛金	504	421
短期借入金	1,033	530
1年内返済予定の長期借入金	1,107	1,048
1年内償還予定の社債	30	—
リース債務	15	8
未払金	223	213
未払費用	401	307
未払法人税等	73	207
未払消費税等	61	78
前受金	13	16
預り金	69	56
前受収益	187	95
賞与引当金	13	12
店舗閉鎖損失引当金	4	35
その他	43	12
固定負債	2,912	2,547
社債	105	—
新株予約権付社債	895	—
長期借入金	1,215	1,909
リース債務	37	29
預り敷金及び保証金	296	277
繰延税金負債	—	40
退職給付引当金	85	101
長期前受収益	94	81
負ののれん	113	89
債務保証損失引当金	12	—
その他	57	18
負債合計	6,696	5,592
純資産の部		
株主資本	6,345	4,580
資本金	1,274	897
資本剰余金	2,165	960
利益剰余金	2,905	2,724
自己株式	△ 0	△ 2
評価・換算差額等	△ 0	△ 0
その他有価証券評価差額金	△ 0	△ 0
純資産合計	6,345	4,579
負債純資産合計	13,042	10,172

(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

■ 損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当事業年度末	前事業年度末
	(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	(自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
売上高	15,966	13,429
売上原価	5,525	4,850
売上総利益	10,441	8,579
販売費及び一般管理費	10,177	7,983
営業利益	263	596
営業外収益	406	362
営業外費用	268	171
経常利益	401	786
特別利益	25	33
特別損失	979	523
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△ 552	296
法人税、住民税及び事業税	79	258
過年度法人税等	—	68
法人税等調整額	△ 924	△ 64
当期純利益	292	34

(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

■ キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当事業年度末	前事業年度末
	(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	(自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	275	226
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 807	△ 174
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 259	457
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△ 790	509
現金及び現金同等物の 期首残高	969	460
現金及び現金同等物の 期末残高	276	969

(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

■ 株主資本等変動計算書

(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本									評価・換算差額等		純資産 合計		
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券評 価差額金		評価・換算 差額等合計	
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金								利益剰余金 合計
						固定資産 圧縮積立金	別 途 積立金	繰越利益 剰余金						
平成21年3月31日 残高	897	960	—	960	78	319	860	1,467	2,724	△ 2	4,580	△ 0	△ 0	4,579
事業年度中の変動額														
新株の発行(新株予約権の行使)	377	377		377							755			755
合併による増加			827	827							827			827
剰余金の配当								△ 111	△ 111		△ 111			△ 111
固定資産圧縮積立金取崩						△ 4		4						
当期純利益								292	292		292			292
自己株式の取得										△ 0	△ 0			△ 0
自己株式の処分										2	2			2
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)												0	0	0
事業年度中の変動額合計	377	377	827	1,204	—	△ 4	—	185	180	2	1,765	0	0	1,765
平成22年3月31日 残高	1,274	1,337	827	2,165	78	314	860	1,653	2,905	△ 0	6,345	△ 0	△ 0	6,345

(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

当社の主な業態についてご紹介します

—— 当社は回転寿司、居酒屋並びに教育事業を通じて、お客様、フランチャイズのオーナー様、取引先の方々、地域の人々、そして従業員にいたる当社を支え取り巻く人々との互惠共栄の実現を目指します。——



創業から42年。回転寿司のパイオニア『平禄寿司』。

美味しいお寿司を手頃な価格で楽しんでいただきたい

との想いを持って一皿一皿に心を込めてご提供しており

ます。定番メニューの他に季節限定商品、店長のおすすめ、アラカルトなど四季を通じてバラエティー豊かな味がお楽しみいただけます。また、便利な宅配サービス（一部店舗のみ）も行っております。



旨い！安い！早い！がモットーのダイニングレストラン

『とりあえず吾平』。全国に100以上あるチェーン店舗より

販売データを集約し、季節ごとにお客様へ新しい商品の提

案を行っております。ヤングからミドルまでのファミリー層をメインターゲットとして、多様な商品と良心的な価格が支持され、今一番伸びている業態です。





伝統ちゃんこ鍋の自慢は、相撲部屋直伝のレシピに独自の改良を加えたこだわりの極旨スープです。鍋の中では、新鮮で安全な野菜をはじめ自然の恵みをたっぷりうけた鶏や豚肉、フレッシュな魚介類など素材同士がゆっくりとそれぞれの味わいを醸しだします。鍋の中で繰広げられるこのコラボレーションはまさに絶品の一言です。定番のちゃんこ鍋以外にもアラカルト・メニューも多数取り揃えてお客様のご来店をお待ちしております。



『アントニオ猪木』氏をメインキャラクターにした日本中を元気にするテーマレストランです。懐かしのプロレス映像が店内に流れる中、プロレス技や選手名からネーミング



されたボリューム満点のメニューをご提供しております。また、店内はアントニオ猪木ミュージアム・ショップにもなっており、ここでしか買えない闘魂グッズやお酒など、オフィシャル店ならではの商品を取り揃えております。

当社の主な業態についてご紹介します

海鮮問屋

地魚屋

『地魚屋』は素材にこだわります。季節ごとの旬魚を使用した『地魚屋名物 大皿盛り』を始め、日本全国から探し求めた究極の旬の食材。熟練の料理人がこれら素材の味を前面に引き出します。広々とした店内には、人数に合わせてご利用できる様々なタイプの個室をご用意しております。心を許すお友達と珠玉のお時間をお過ごし下さい。



風情あるくつろぎの空間で美味しい旬魚刺身や創作和食はいかがでしょうか。こだわりの料理とお酒を気軽に楽しめるお店が『えん屋』です。鮮魚・本格焼酎・地酒・ワイン好きにお勧めです。和モダンでお洒落な店内となっており、ご利用人数に合わせて区切られた掘りごたつ個室が人気となっております。



■奥羽寿司製作所 100円均一の回転寿司ブランド

平成21年11月より北東北を中心に『奥羽寿司製作所』を新規9店舗出店いたしました。1皿100円均一でどなたにも納得いただけるお値打ち商品を提供しております。既存店からの転換により新たな顧客を取り込んでおり売上、客数とも順調に推移しております。

■奥羽寿司製作所および平禄寿司山形地区 タッチパネルを導入

『奥羽寿司製作所』9店舗へ平成22年4月よりタッチパネルを導入いたしました。タッチパネルでご注文いただくと、奥からコンベアレーンでお客様のお席まで商品が運ばれてきます。簡単に注文が出来、提供も早いとお客様より大変好評をいただいております。また、5月中旬より『平禄寿司』山形地区店舗にタッチパネルシステムを導入設置いたしました。

■平禄寿司 海外へ出店加速

タイ3店舗目となる『タイ・バンコク・ジャンワッタナ店』がタイ中心部より北へ約40km、ジャンワッタナの商業施設内に6月15日オープンいたしました。また、中国の上海に新たにオープンする商業施設内と、アジア圏外初となるオーストラリアのゴールド コースト中心部に7月上旬出店予定となっております。

■学習塾と幼児英会話教室の併設

みやび個別指導学院 NOVA&ITTO

平成22年3月13日より新規ブランドとして『みやび個別指導学院』が新たに加わりました。学習塾と幼児英会話教室を併設し、学びの裾野を広げております。また、平成21年9月より英会話事業課と学習塾事業課に分割し、多様なニーズに専門的に対応できる体制といたしました。今後とも教育を通じてより多くの生徒様に『感動』を提供して参ります。

■ てんてけてん

平成22年4月21日に東京池袋店（1号店）がオープンいたしました。全品300円の創作和食をゆったり個室でお楽しみ下さい。100種類以上の豊富なメニューの中からタッチパネルで簡単にご注文いただけます。炭火を使って、こんがり焼き上げる焼き鳥が自慢の一品です。

■ つけめん いちよし

平成22年4月22日に新ラーメン激戦区の東京木場に新規オープンいたしました。『つけめん いちよし東京木場店』の特徴は豚骨や鶏ガラ、厳選された香味野菜、うるめや昆布などを半日かけて煮込み調合した濃厚魚介系豚骨スープに、噛めば噛むほど味が出る極太麺となっております。お客様の五感に『感動』の二文字を与えるべく日々精進しております。

■ フードインクルーヴ株式会社との合併

「村さ来」をはじめとする居酒屋のFC展開を行うフードインクルーヴ株式会社と第51回定時株主総会にて、決議されることを前提として、平成22年7月1日に合併を予定しております。加盟FC205店舗を持つ同社と合併することにより、今後の業態開発における相互ノウハウの提供、コスト削減、客層の拡大などの相乗効果が期待されております。FC加盟店様に対してはバックアップを迅速に提供し、一層強固な業績基盤を互惠共栄の精神で共に実現して参ります。

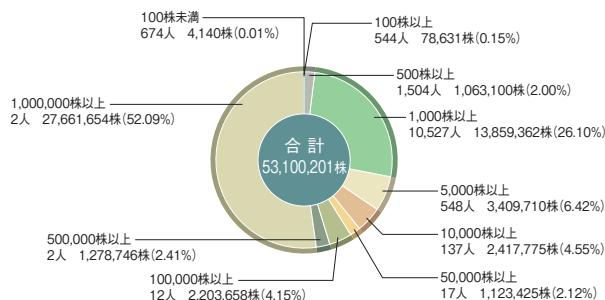
株式の状況 / 会社情報

株式の状況 (平成22年3月31日現在)

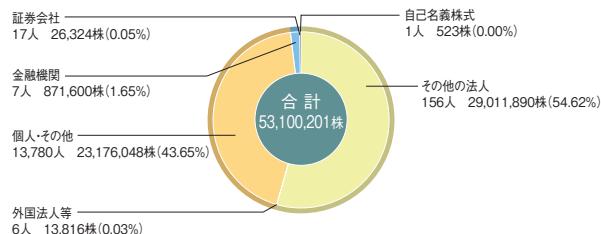
発行可能株式総数 90,000,000 株
 発行済株式の総数 53,100,201 株
 株主数 13,967 名
 大株主

株主名	持株数	持株比率
(株) ジー・コミュニケーション	26,408,454 (株)	49.73 (%)
ジー・テイスト取引先持株会	1,253,200	2.36
江川春延	718,000	1.35
(株) 生活考房	560,746	1.06
江川進興	453,900	0.85
(株) 七十七銀行	324,000	0.61
東金次	219,100	0.41
第一生命保険相互会社	162,000	0.31
明治安田生命保険相互会社	144,000	0.27
(株) 学書	140,186	0.26

所有数別株式構成比率



所有者別株式構成比率



会社概要 (平成22年3月31日現在)

商号 株式会社ジー・テイスト
 会社設立日 昭和34年11月25日
 資本金 1,274,628千円
 事業内容 1. 回転寿司店の経営
 2. 居酒屋店の経営
 3. 各種教室の経営
 4. 関連商品の販売

役員 (平成22年6月24日現在)

代表取締役社長	稲吉史泰
常務取締役	川上雄一郎
取締役	伊藤雄一
取締役	扇藤正信
取締役	木村剛
取締役	加藤清貴
取締役	岡本幸夫
監査役	星佐藤晴加
監査役	佐藤靖子
監査役	中川靖之

※平成22年7月1日就任予定

ホームページのご案内



ホームページ▼
<http://www.g-taste.co.jp/>
 当社のホームページでは、第51期事業報告書ではお伝えしきれない、最新のトピックス、業態ごとの店舗情報、IR情報や今後の戦略など、様々な情報が掲載されています。是非、一度ご覧下さい。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 3月31日
配当金の基準日 期末配当金 毎年3月31日
その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡下さい。

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲二丁目3番1号
事務取扱場所 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 ☎0120-176-417
ホームページアドレス <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 下記当社ホームページに掲載いたします。
<http://www.g-taste.co.jp>
上場証券取引所 株式会社大阪証券取引所(ジャスダック市場)

株式会社ジー・テイスト

〒984-0042
仙台市若林区大和町5-33-18
TEL : (022) 237-5566 FAX : (022) 237-5570
ホームページアドレス <http://www.g-taste.co.jp>

G.taste